

第3回 水辺広場利活用ワーキンググループ まとめ

1. 広場の整備方針、整備イメージ（第3回ワーキンググループ当日資料より）

（2019年10月8日開催）

○高尾山口駅前ふもと公共空間形成・活用ワークショップ（2018年9/1、10/14）、水辺広場利活用ワーキンググループ（2018年12/14、2019年2/25）等での意見を踏まえ、広場整備の考え方、整備イメージ（平面プラン、植栽プラン）、空間の使われ方（動線、アクティビティ）等に関する検討を行いました。

これまでの主なご意見

広場の性格

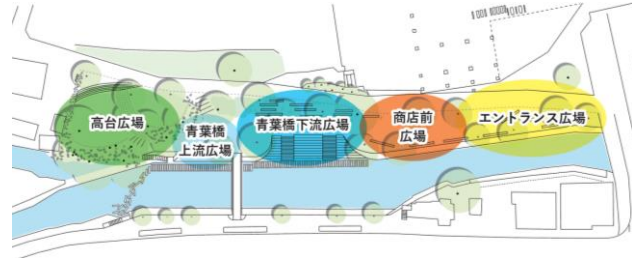
- 案内川の魅力を活かした、まちと川が一体となる広場をつくりたい
- 地元住民も観光客も安心して気持ち良く過ごせ、集える場所をつくりたい
- 高尾山口への回遊を生み出す場所をつくりたい
- 人が主役の風景をつくり、今からの原風景となる「名所」をつくりたい

整備方針

地域の自然と人の営みを活かした広場のデザイン

- 案内川にアクセスしやすく、まちから水辺が感じられる広場をつくります
- 地元住民と観光客の動線をゆるやかに分け、色々な目的で訪れる人が気持ちよく過ごせる居場所をつくります
- 高尾山へのスムーズな移動を促すサインや動線をつくります
- 様々な活動がしやすく、高尾山らしさが感じられる個性的で美しい広場をつくります

ゾーニング



全体

エントランス広場

- ・開放感を確保したり、対岸の建物側の見え方を工夫するなど、駅前からの見え方を良くしたい
- ・看板の整理、情報発信のあり方を考える
- ・木陰やベンチなどにより、休める場がほしい

場の捉え方・場の機能

- 高尾山の玄関口となる場
- 高尾山にきた高揚感を醸成するとともに、待ち合わせや登山準備などをする場

整備方針

- 高尾山の自然と案内川が存在が感じられる視線の抜けをつくります
- 待ち合わせ等に使える大きなベンチを設置します

整備イメージ



商店前広場

- ・樹木で見通しが悪いので、良くしたい
- ・低木や杭、ロープ等で分断されているのを改善し、空間を一体的に使いたい
- ・イベント等で活用できるスペースが欲しい
- ・滞留する人と移動する人がごちゃごちゃしているので交通整理したい

- エントランス広場に隣接する滞留が可能な場
- 平場を広げ、登山準備やミーティング等を行う場
- 滞留と移動の空間的なすみわけが必要な場

- 低木等を撤去し、広々とした平坦な場所をつくります
- 十分な移動空間を確保しながら、案内川沿いには水辺を楽しめるベンチを設置します



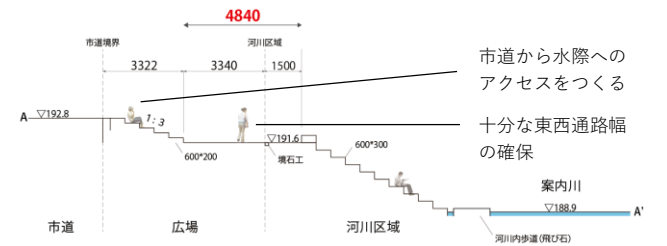
個別エリア

青葉橋下流広場

- ・ベンチは、案内川を臨むことができる向き、位置に置いた方が良い
- ・大事な樹木は残した方が良い
- ・国道側からの眺めを考慮する

- 親水性を楽しむ場
- 心地よい滞留の場を演出するとともに、滞留と移動の空間的なすみわけが必要な場

- 市道から階段広場へのアクセスを容易にする、木々に囲まれた空間をつくり、国道側からの印象的な景観をつくります

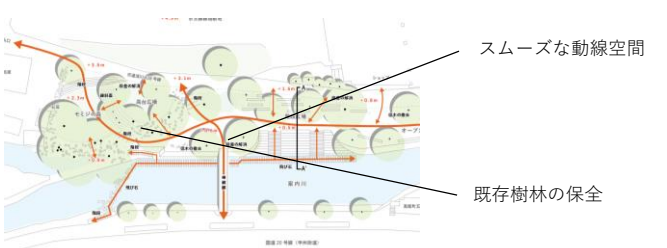


青葉橋上流広場

- ・高台広場との一体的なつながりをもたせたい
- ・青葉橋との段差を少なくするなど、バリアフリー対応にしたい
- ・モミジが特徴的で活かしたい
- ・樹木がうっそうとしているので、樹木も整理して、安全面からも見通しを良くしたい

- スムーズな移動と心地よい滞留を共存させる場
- 既存モミジ等を活用した写真撮影スポットとなる場

- モミジの景観を活かした、見通しが良く歩きやすい空間をつくります

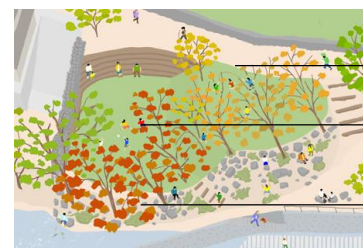


高台広場

- ・段差を少なくし、他の広場と一体的に使えるようにしたい
- ・河川の眺望を楽しむ展望台的な場として使いたい
- ・テーブルやベンチを置いて休息したり、待ち合わせの場として使いたい
- ・子ども達が遊べるような空間にしたい

- エントランス広場から離れた一定のまとまりのある場
- 高台からの眺めを演出するとともに、子どもが遊んだり、イベント的な利用を可能とする場

- 市道と広場の段差を無くし、開かれた居場所をつくります
- 樹木を整理し、明るく、水辺の景観を楽しめる場所をつくります



2. ご意見のまとめ

全体に対する意見

- ・全体的にこれまでの意見が反映されていてよい。

案に対する個別検討項目への意見

子供の遊び場（遊具）について

- ・子どもが遊ぶ場と想定すると、現状子どもが遊ぶ場と分かりにくい。例えば、遊具を置くなど、分かりやすさが大事ではないか。
- ・遊具設置も含め、どのような人が使う場として想定するのか再度検討する。

ケヤキについて

- ・伐採した方がよい。台風等で枝が落ちてゐる等の防災上、管理上も大変である。

ロックガーデンについて

- ・自然の雰囲気が出ていて良い。
 - ・スロープのような通路をつくることはできないか。階段だと歩かないのではないか。
- スロープを設置すると、急勾配となり、逆に危険になるおそれがある。

植栽について

- ・全体的に木陰はあった方がよい。
- ・桜はかつて地域で植えた、思い入れのある樹木。2月～5月頃まで、長い期間桜を楽しめるよう、4種類の樹種を植栽している。
- ・ソメイヨシノ、病気にかかりやすいのでやめた方がよい。
- ・コナラを植えるとよい。
- ・植栽の管理は大変なので留意した方がよい。
- ・樹木の再配置、樹種の取り扱いを検討してほしい。

野草について

- ・野草を植えるのはよいが、外から人が引っこ抜いていく恐れがある。ここが課題である。

動線について

- ・歩行空間と滞留空間の境がいまいだと、たまり場になってしまう。歩行者通路であることを明確にわかるよう、検討してほしい。
- ・課題はマナーの問題にある。

メタセコイアについて

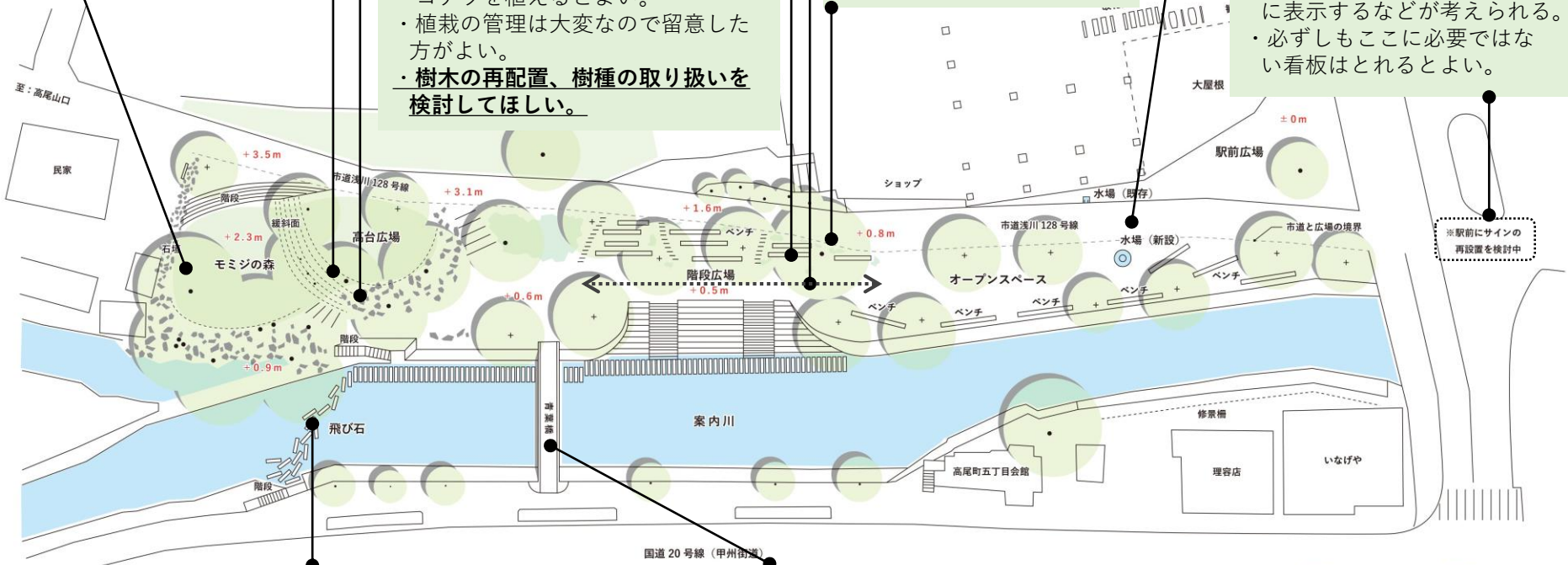
- ・外来種で、伐採してよいのではないか。

手洗い場について

- ・ニーズはあるので、設置は良い。もう少し増やしてはどうか。
- ・高台広場に水口があったと思うので、これを使うアイディアもあるかもしれない。

案内サインについて

- ・駅前の大型案内板以外に案内サインがほとんどなく、不親切であるという声を聞く。
- ・現在のような大型のサインではなく、小さくてよい。最近スマホで調べる人も多い。
- ・山にある道標のようなシンプルなものであったり、路面に表示するなどが考えられる。
- ・必ずしもここに必要ではない看板はとれるとよい。



飛び石について

- ・面白いアイディアで通ってみたい。遠足の場としても使える。
- ・設置当初はよいが、その後のメンテナンスが重要となってくる。
- ・川に降りられる仕掛けだけあれば、飛び石はなくてよいのではないか。
- ・石やコンクリートなど素材、どのようなデザインがよいか検討してほしい。

水辺について

- ・川に降りた際に、きれいな状態であってほしい。
- ・川の中の土砂は定期的にとらないといけないのではないか。

青葉橋について

- ・再整備できないのか。きれいな素材で、バリアフリー対応にできるとよい。現状は、足の悪い人は通りにくい。
- 将来的な検討課題。広場からフラットにした場合、橋の構造と水位との関係が影響してくるので難しい。

ファニチャーについて

- ・駅前ベンチは、インパクトがあってよい。
- ・ベンチが長いと寝る人が出てくる恐れがある。
- ・現状ベンチが少なく、使えない状況があるので、増えることはよい。但し、管理面が大変になるので、検討してほしい。
- ・駅前以外のベンチやテーブルのあり方を検討してほしい。

新たな検討項目への意見

喫煙所について

- ・喫煙所をつくることはできないか。公園内ではなくてもよいが、たばこを吸う人が多いので、あった方がよい。

トイレについて

- ・トイレを作ってほしい。
- メンテナンスにお金がかかることや、防犯上の観点から整備することは難しい印象がある。
- 現状、隣接する高尾山口駅にトイレもあることから、これを活用してもらいながらうまく使えるとよいのではないか。

照明について

- ・設置のあり方を検討してほしい。
- ・防犯上の死角を少なくしたい。不審者、泥酔者などが多く、照明で分かるようにしたい。
- ・防犯上のイメージは、観光地のイメージにも影響する。

収益施設について

- ・管理費をねん出するため、露店を出すようなことはやめて欲しい。
- 露店をむやみに出さないよう地域で取り組んできたと聞いている。現在の案はそのようなものが出店しない案として考えている。

その他の意見

河川工事に伴う迂回路について

- ・迂回路にあたる擬木の階段の状態が悪いので、上り下りしやすくできないか

水路について

- ・何ヶ所か見えるようになっていないと困る。
- 次回、検討した結果を見せるようにしたい。
- ・水路内につまった場合、どうなるのか。今も土砂だけでなく、樹木の根がつかまることもある。
- 塩ビ管になるため、根の問題は大丈夫だと思う。

五丁目会館について

- ・現在の高尾町五丁目会館を案内分校へ移転させ、今の敷地を上手く使うことを考えてはどうか。

今後の検討事項

- 全体のデザインは現在の案を元に検討を進める。
- 第3回ワーキンググループで出てきた意見のうち、特に下線の部分の検討を深める。